

報 告

平成30年8月10日

環 境 局

環 境 産 業 推 進 課

第三セクターの経営情報について  
(西日本ペットボトルリサイクル株式会社)

## 1 会社概況（平成30年3月末現在）

### (1) 主要な事業内容

ペットボトルリサイクル事業

（食品容器用再生PET樹脂製品及び非食品用途再生PET樹脂製品の製造）

### (2) 本社・工場

北九州市若松区響町一丁目62番（平成10年7月稼動）

### (3) 株式及び市出資額

①資本金	1億円
②発行済み株式の総数	2,000株
③当期末株主数	5名
④市出資額	500万円（出資比率 5%）

### (4) 当期末従業員

42名（常勤役員3名を除く）

## 2 平成29年度事業報告

### (1) 全国のペットボトルリサイクルの状況

主な原料調達先である（公財）日本容器包装リサイクル協会（※容器包装リサイクル法に基づく指定法人）による、平成29年度の全国の自治体からの引取量は、19万8,800トンと前年度から僅かに増加したものの、国内の処理能力も高まっていることから、依然として設備過剰による厳しい条件下での入札となった。

平成29年度上期の落札価格（※有価での買取り）は、新品PET樹脂価格の上昇の影響を受け、トン当たり4万1,800円と前期から9,100円上昇したが、下期は、新品樹脂の価格が一時的に下落の気配を見せたことから、3万7,800円と少し値が下がった。

### (2) 原料入荷の状況

顧客等からの市場情報を踏まえながら、価格と量の確保とのバランスに配慮して入札に臨んだ結果、平成29年度上期は1万700トン、下期は9,600トンと目標を若干下回った。

しかしながら、中国の輸入停止の影響を受け行き場を失った指定法人ルート以外の事業系原料（※自動販売機や飲食店等から回収されるもの）を安価に調達できたことから、当年度の合計では、前年度比3,200トン増の2万5,700トンの原料入荷を確保した。

### (3) 生産の状況

食品トレイや制服、ネクタイなどの繊維、洗剤ボトルの原料になる「ペレット」及び卵パックや各種繊維製品などの原料になる「フレーク」を生産し、年間出荷量は前年度比1,200トン増の1万8,700トンとなった。

(4) 販売の状況

新品のPET樹脂価格に連動して再生PET樹脂の価格も変動したが、売上高は前年度より3億2,000万円増の20億1,700万円となった。

(5) 財務の状況

経常利益	5,911万円 (H28:3,616万円の利益)
当期純利益	5,855万円 (H28:3,595万円の利益)

(6) その他

北九州エコタウン第一号立地企業。

市が設置する環境産業推進会議に参画するほか、北九州エコタウン連絡会議において中心的役割を果たすなど、国内の資源循環や、本市の環境産業振興に寄与。

(参考) 平成30年度の状況

平成30年度(上期)落札結果

- 全国平均落札単価：1トン当たり3万1,044円での買取り
- 同社落札量：9,751トン

### 3 決算報告書

#### 損益計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(千円)

科 目	金 額
営業損益 ①	59,215
営業外損益 ②	▲102
経常損益 ①+②=③	59,113
特別損益 ④	▲350
税引前当期純損益 ③+④=⑤	58,763
法人税・住民税及び事業税 ⑥	▲209
当期純損益 ⑤+⑥=⑦	58,554

#### 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	597,442	流動負債	791,218
固定資産	1,229,749	固定負債	80,002
有形固定資産	1,212,986	負債合計	871,219
無形固定資産	14,061	資本金	100,000
投資等	2,703	利益剰余金	855,972
		純資産合計	955,972
合 計	1,827,191	合 計	1,827,191